

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53002002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	実存の探究[P3A,PN2]		
授業科目名 (フリガナ)	ジツゾンノタンキュウ		
英文授業科目名	An Inquiry into the Human Existence		
担当教員名	近藤 武敏		
担当教員名 (フリガナ)	コンドウ タクトシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	火 1 時限, 2 時限	講義室	総K203
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、板書多用
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	実存、身体、他者、ことば、調和		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第3パッケージ：生命・人間への接近 人間とは何か、という問題を《哲学的な》仕方と考えます。		
学習の成果			
授業の目標・概要等	知覚、身体、言語、思考、他者、理性といったテーマを通して、私たちが実際に生きていながらも気づきたい人間のあり様（実存）を、《体験の記述を踏まえ、諸科学の成果をも参照しながら、筋道を立てた思考によって探究する》という仕方 で、明るみにだし、現代を生きうる新しい/別の人間についての理解を作り上げる。		
授業計画	(1)オリエンテーション / 哲学とは何か -1 (2)哲学とは何か -2：世界を前にしての驚き (3)哲学とは何か -3：根源への問い、根源からの問い (4)哲学とは何か -4：理性 (5)現代の知において制度化した人間像 -1：哲学の人間像 (6)現代の知において制度化した人間像 -2：科学の人間像 (7)現代の知において制度化した人間像 -3：分裂する人間像 (8)知覚 -1：身体の再発見 (9)知覚 -2：脳と身体 (10)知覚 -3：私の身体としての世界 (11)知覚 -4：世界の鏡としての私の身体 (12)言語 -1：言葉、思考、身体 (13)言語 -2：言葉と世界 (14)言語 -3：他者との共存と身体 (15)言語 -4：理性、あるいは言葉を通じての共存		
教科書・参考書等	毎回、講義概要を配布します。関連する書物などは、講義中あるいは講義概要で紹介し、授業の理解を深めるためには、そのようなテキストを参考にしてください。		
授業で使用する メディア・機器等	なし		
予習・復習への アドバイス	講義概要にあらかじめ目を通して、各回の講義内容とその内容の講義全体での位置を把握しておいてください。講義が終わって理解できなかった点は、コメント用紙に書いて質問するか、WEB上に設けた質問用のBBS（授業で紹介し、授業で紹介します）を利用して質問してください。		
履修上の注意 受講条件等	講義のほかに、出席票を兼ねたコメント用紙に、講義についての感想、質問、反論などを書いてもらい、次回の講義で、それらの中のいくつかに応えます。したがって受講生は講義する者と直接対話するような積極的な態度で授業に臨むことが要求されます。		
成績評価の基準等	学期末提出のレポート(80%)の出来具合に、受講態度(20%)を加味して評価します。		
メッセージ			
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		
学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。			

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53003001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	聖書の間人理解[P3B,PN2]		
授業科目名 (フリガナ)	セイショノニンゲンリカイ		
英文授業科目名	Humanity in the Bible		
担当教員名	辻 学		
担当教員名 (フリガナ)	ツジ マナブ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	金 7時限, 8時限	講義室	総K110
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、板書多用
単位	2	週時間	2
対象学生	1年次生 後期(2セメスター)		
授業のキーワード	宗教、旧約聖書、創世記、神、人間		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第3パッケージ：生命・人間への接近 宗教の角度から生命・人間について考察する機会を提供する。生命・人間という主題には宗教的観点からの考察が不可欠であるので、旧約聖書を素材としてその考察を深めていく。		
学習の成果	ユダヤ教とキリスト教が共通して正典としている旧約聖書を取り上げることで、神という視点を加えると人間をどのように捉えることが可能になるかを知り、一神教的な宗教理解を持っている人々の考え方を学ぶ機会を得られる。振り返って我々の神理解や人間理解を見つめ直すこともできるようになる。		
授業の目標・概要等	旧約聖書の「創世記」に収められた一連の物語を読み解きながら、物語の中に込められた人間理解を考察する。「天地創造物語」が語る世界と人間の本来のあり方、「エデンの園物語」に現れる男女関係の理想と現実、「カインとアベルの物語」が描き出す不条理の存在と神の関係、「バベルの塔物語」から読み取れる人間の傲慢さの問題など、創世記は、ユダヤ教・キリスト教の信者にとって重要な文書であるに留まらず、現代の人間にとって重要な問題をたくさん提起している。これらの物語を味わいつつ、私たち人間の生き方やこの世界のあり方について考え直す機会としたい。なお、とくにユダヤ教やキリスト教についての予備知識は前提としない。必要な事項は随時講義の中で説明を加える。		
授業計画	第1回 授業オリエンテーション 第2回 旧約聖書の構造と成立史 第3回 天地創造物語 第4回 エデンの園の物語(1) 第5回 エデンの園の物語(2) 第6回 カインとアベルの物語 第7回 洪水物語(1) 第8回 洪水物語(2) 第9回 バベルの塔の物語 第10回 特別講義：クリスマス 第11回 イサクとイシュマエル：アブラハムの二人の子 第12回 アブラハムとイサクの物語 第13回 ソドムのためのとりなし 第14回 全体の総括(1) 第15回 全体の総括(2) 学期末試験を実施する。		
教科書・参考書等	教科書なし。講義時にプリントを必要に応じて配布する。参考書については下記(予習・復習へのアドバイス)参照。		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料、映像(OHCによる画像資料提示)		
予習・復習への アドバイス	第2回授業のために、たとえば『新版・総説旧約聖書』(西図書館開架193.1/So-62)のような概説書に目を通しておくことを勧める(街中の書店で売られている聖書入門の類でも可)。 第3回～第13回授業のために、上掲書の創世記に関する部分を読んでおくとう理解を助ける。		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	学期末試験(100%)によって成績を決定する。		
メッセージ	受講者との双方向での意思疎通を促進するため、毎回の授業後にコメント用紙を提出してもらい、その内容に基づいて授業内容を変化させます。その意味で、上記の授業計画は仮のものです。		
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内)】： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53004002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	社会的なものと人間[P3A,PN2]		
授業科目名 (フリガナ)	シャカイテキナモノトニンゲン		
英文授業科目名	Society and Human Being		
担当教員名	材木 和雄		
担当教員名 (フリガナ)	ザイキ カズオ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	金 5 時限, 6 時限	講義室	総K103
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心で、板書を多用します。初回からフルタイムで授業をします。出欠も取ります。受講希望者は第1回目の授業に必ず出席してください。
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	自己理解、人間の尊厳、価値観、社会化		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ			
学習の成果			
授業の目標・概要等	その他の動物と比較した人間の特色は何か、人間に最も近い動物である類人猿（チンパンジー）の言語能力との違いは何か、人間の自我はどのように現れ、発達していくのか。社会化の問題点とは何か。以上について、学説を紹介しながら、人間の理解に迫りたいと思います。		
授業計画	01.社会と人間を理解する視点について 02.他の動物と比べた人間の行動の特徴 03.人類の進化の過程 04.ホモ・サピエンスの言語能力の特性 05.チンパンジーの言語能力1 06.チンパンジーの言語能力2 07.チンパンジーの言語能力3 08.言語の機能1 09.言語の機能2 10.コミュニケーションとは何か 11.人間の自我の発達1 12.人間の自我の発達2 13.人間の社会性1 14.人間の社会性2 15.社会的なものと人間		
教科書・参考書等	講義形式(講義中心;板書多用、テキストなし、必要に応じてプリントを配布) 使用する視聴覚教材の種類(ビデオ・DVD)		
授業で使用する メディア・機器等	テキストはありません。配付資料、映像(ビデオ)		
予習・復習への アドバイス	第1回専用のノートを用意し、出席してください。 第2回継続的に出席してください。 第3回以下同じ。 第15回期末試験対策として、ノートをよく読んで、ポイントを頭に入れておいてください。		
履修上の注意 受講条件等	第1回目の授業日には必ず出席すること。授業では大量の板書をします。ルーズリーフではなく、「専用の大学ノート」を用意することをお勧めします。また授業を途中で休むと内容がわからなくなる恐れがあるので継続的に出席するようにしてください。なお私語・お遊び・筆談・携帯電話の閲覧などで授業に集中力を欠く場合には、名前を伺って試験の結果から減点します。		
成績評価の基準等	期末試験の結果(90%)と授業中の小テストないしレポート、または平常点(10%)を加味し総合判定します。		
メッセージ	初回からフルタイムで授業をします。出席も取ります。出ないと欠席です。受講希望者は第1回目の授業に必ず出席してください。		
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内)】: https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html		

学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53005002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	心と適応[P3A,PN2]		
授業科目名 (フリガナ)	ココロトテキオウ		
英文授業科目名	Human and Adaptation		
担当教員名	杉浦 義典		
担当教員名 (フリガナ)	スギウラ ヨシノリ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	金 5時限, 6時限	講義室	総L201
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心 映像多用 積極的な読書を推奨
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	キーワード：人間、心、価値、健康		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	生命・人間への接近 「心」の「健康」について基礎知識をえるとともに、多面的な視角をえられることを目的とする。		
学習の成果	人の主観と客観、適応の多面性を理解する。 それによって、人間や、現代社会を理解する柔軟な視座を獲得する。		
授業の目標・概要等	<p>精神的健康について基礎知識をえるとともに、これが適応、これが不適応と決め付けられない柔軟性を会得する。そのためには、何回かのひねりを加えたい。</p> <p>様々な現象について映像教材を用いてしたしんでいただいた上で「適応って何」というテーマについて徹底して問いを投げてみよう。</p> <p>心理学の基礎的な知識をより活きた形で体感できるようにビデオ教材を多用します。「理論と実践」という言葉に魅力を感じる方はどうぞ。</p>		
授業計画	<p>オリエンテーション</p> <p>心の健康 1 まずパニック障害を知ろう 心の健康 2 その治療法を学ぼう 心の健康 3 次に強迫性障害について知ろう 心の健康 4 その治療法を学ぼう 心の健康 5 うつ病についても知ろう ひねり 1 がんばるからかえって不安になる場合をかながえよう ひねり 2 ネガティブだといけないのか考えよう 心の健康 5 統合失調症について知ろう 心の健康 6 その治療法を学ぼう ひねり 3 苦しいことをなくそうとしない発想を学ぼう ひねり 4 あえて内面を強調しないことを学ぼう ひねり 5 ただ見つめる力をつけよう まとめ 1 統合 まとめ 2 学習方のアドバイス</p> <p>成績評価の基準等を参照</p> <p>・心理学の基礎的な知識を生きた形で体感できるようにビデオ教材を多用します。実験的な研究がどのように応用できるのかが理解できるでしょう。「理論と実践」という言葉に魅力を感じる方はどうぞ。 ・各回の授業予定は目安です。授業の目的から逸脱しない範囲で、皆さんの理解度や興味に応じて（あるいは学問の進歩を踏まえて）柔軟にすすめたいと思います。</p>		
教科書・参考書等	<p>杉浦義典・丹野義彦 (2008). パーソナリティと臨床の心理学：次元モデルによる統合 培風館 基本こちらを用いる予定ですが、品切れの場合は、下記を用いたいと思います。その場合は授業初回に連絡をします。 丹野義彦 (編) (2002). 認知行動療法の臨床ワークショップ - サルコフスキスとパーチウツの面接技法 金子書房</p>		
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 映像 (ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	・復習が重要です。毎回、良くノートを見直してください。教科書に加えて以下の参考文献を読むことを推奨します。授業でももういくつか紹介すると思います。		

<p>予習・復習への アドバイス</p>	<p>杉浦義典 (2009). アナログ研究の方法 新曜社</p> <p>丹野義彦 (編) (2002). 認知行動療法の臨床ワークショップ - サルコフスキスとバーチウツドの面接技法 金子書房</p> <p>坂野雄二・丹野義彦・杉浦義典 (編) 不安障害の臨床心理学 東京大学出版会</p> <p>杉浦義典 (2003). ストレス対処から見た心配の認知的メカニズム 風間書房</p> <p>杉浦知子 (2007). ストレスを低減する認知的スキルの研究 風間書房</p> <p>クラーク, D. M., エーラーズ, A. 丹野義彦 (編・監訳) (2008). 対人恐怖とPTSDへの認知行動療法: ワークショップで身につける治療技法 星和書店</p> <p>三宮真智子 (編) (2008). メタ認知: 学習力を支える高次認知機能 北大路書房</p>
<p>履修上の注意 受講条件等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私語, 居眠り, 無断退室は一切許容しません。これが確実に守れる人のみ履修してください。違反の場合は, 大幅な減点とします。 ・授業はきちんと出席して聴くためのものですので, 欠席したり, 話を聞いていなかったことに対するフォローは一切行いません。例えば, 休んだ回の内容を尋ねに来たり, 評価上の救済措置をもとめたり, といったことは厳に慎むこと。 ・病欠/ 忌引/ 天災/ 事故はしかるべき手続きをへて可能な助力を行います (課外活動や「用事」は配慮をする理由には一切ありません)。 ・初回のガイダンスには必ず出席し, 授業の内容やすすめかたを十分理解のうえ, 履修してください。
<p>成績評価の基準等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席数が不足の場合はそもそも受験資格がありません。教室にいても寝ているなどは出席とみなしません。 ・試験あるいはレポートにより評価します。内容は授業内容を理解していることを確認する問題と読書課題 (参考図書から1冊) からなります。 ・試験も学習の機会と捉えます。試験や成績評価に関しては, 授業の中で入念に説明を行い, その場で質問も受け付けます。試験後にもフィードバックを行い, 今後の学習の役にたつようにしたいと思います (それが可能なように試験日程 (あるいはレポート提出日) を設定する予定です)。 ・成績評価に関する説明と陳情や交渉は全く別のものです。不当な要求は許容しません。 ・病欠/ 忌引/ 天災/ 事故で受験ができなかった場合はしかるべき手続きをへて可能な助力を行います (詳細は授業の中で説明します)。部活や「用事」や「確認不足」で受験できなかったり, 成績が思わしくないことを理由とした救済措置 (再試験など) は一切行いません。 ・その他, 欠席や説明を聞いていなかったために生じた結果に対するフォローは一切ありません (毎回出席している, という前提なので, たとえ抜き打ちテストでもこまることはないはず, という考え方)。
<p>メッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の終わりに質問を受ける時間を設けます。積極的に活かしてください。担当者にとっても励みになります。
<p>その他</p>	<p>【パッケージ別科目共通資料掲載場所 (もみじTop内) : https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html】</p>
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し, 改善につなげていきます。 なお, 受講者が著しく少ない場合などに, アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53007002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	人間と健康[P3A,PN3]		
授業科目名 (フリガナ)	ニンゲントケンコウ		
英文授業科目名	Man and Health		
担当教員名	山崎 昌廣		
担当教員名 (フリガナ)	ヤマサキ マサヒロ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	火 1時限, 2時限	講義室	総K108
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心(パワーポイント使用)
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	スポーツ, 運動, 生活習慣, 肥満, ストレス		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	パッケージ名:人間と文化 視角:自然の視角		
学習の成果	人間が文化的な生活を送っていく上で、最も重要なことからの一つは「健康」状態を保つことである。「健康」がどのように維持され、そして改善し得るかをこの講義を通して理解する。		
授業の目標・概要等	本講義では、健康な生活を送るうえで重要であると考えられる身近な要因について、理解を深めることを目標とする。特に、健康と運動との関係を中心に講義を行う。		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 生体リズムと健康</p> <p>第3回 睡眠と健康</p> <p>第4回 睡眠と健康</p> <p>第5回 肥満による健康障害</p> <p>第6回 白色脂肪細胞と褐色脂肪細胞</p> <p>第7回 栄養と運動</p> <p>第8回 食塩と健康</p> <p>第9回 血液と健康</p> <p>第10回 有酸素運動と健康</p> <p>第11回 無酸素運動と健康</p> <p>第12回 運動処方 1</p> <p>第13回 運動処方 2</p> <p>第14回 健康寿命を延ばす(男女の寿命の比較)</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>生体リズム, 肥満, 栄養および運動というまとまった講義内容の中から, 各受講者は1~2の課題についてレポートを提出する。</p>		
教科書・参考書等	講義にはパワーポイントを用いる。パワーポイントで使用する図は講義ごとにプリントして配布する。		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料, パワーポイント		
予習・復習への アドバイス	第1回-第15回 予習は特に必要ない。図を中心としたプリントを配布するので, その図と授業中に筆記したノートと照らし合わせながら復習する。		
履修上の注意 受講条件等	なし		
成績評価の基準等	レポート(10%)および期末テスト(90%)により行なう。		
メッセージ			
その他	【受講希望者が250人を超えたときは受講者抽選を行う可能性があります。】 【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内): https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		
学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し, 改善につなげていきます。 なお, 受講者が著しく少ない場合などに, アンケートを実施しないときがあります。			

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53009002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	遺伝子の世界[P3B,PN8]		
授業科目名 (フリガナ)	イデンシノセカイ		
英文授業科目名	Genomic World		
担当教員名	日下部 真一		
担当教員名 (フリガナ)	クサカベ シンイチ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	金 7時限, 8時限	講義室	総K313
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	本当は議論中心の講義に行きたいのですが、学生諸君からの発言がなかなかできません。 読んで考えて議論できる講義にしていくのを理想としています。
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	科学技術、自然と人間、生命、遺伝子操作、DNA		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	パッケージ名:科学技術と人間 視角:自然の視角		
学習の成果	遺伝子に関わる研究ニュースは、テレビ、新聞等で日常的になってきている。そのような出来事がわたしたちの生活にどのように関わっているのか、判断できるような基礎知識を習得する。		
授業の目標・概要等	ヒトは生物であるが故に、遺伝と遺伝子についての法則からまぬがれることはできない。ここに、自然科学としての遺伝学と、ヒトの精神的、社会的存在としての倫理的側面のかかわりができてくる。本講義では、「遺伝学」から「遺伝子の科学」へという研究の流れを踏まえて、ひろく、「科学と人間と社会」という視点を持って展開していきたい。		
授業計画	<p>第1回 遺伝とは？</p> <p>第2回 染色体は遺伝情報を担う</p> <p>第3回 現代の遺伝子像</p> <p>第4回 メンデルとダーウィンが考えたこと</p> <p>第5回 突然変異とは？</p> <p>第6回 ヒトの遺伝(1) ヒトの突然変異</p> <p>第7回 ヒトの遺伝(2) 突然変異の起源</p> <p>第8回 ヒトの遺伝(3) 染色体異常</p> <p>第9回 分子遺伝学の誕生</p> <p>第10回 DNAの性質と遺伝子の特性</p> <p>第11回 DNAからタンパク質へ(1)</p> <p>第12回 DNAからタンパク質へ(2)</p> <p>第13回 遺伝子操作とわたしたちの生活</p> <p>第14回</p> <p>第15回</p> <p>その時々生命科学に関わる社会問題などについて文章を書く習慣をつけてもらう。</p> <p>その時々生命科学に関わる社会問題を講義に盛り込んで行きたいので授業計画とは異なった感じを抱く事があるでしょうが遺伝についての基礎知識は順追って伝えて行きたいと計画しています。</p>		
教科書・参考書等	ワトソン「DNA」(講談社ブルーバックス上・下)、中込「ヒトの遺伝」(岩波新書)、クロー「遺伝学概説」(培風館)など		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料, ビデオ		
予習・復習への アドバイス	<p>第1回 生物の基本的性質を復習すること</p> <p>第2回</p> <p>第3回 遺伝子が生物が生活する上で重要な働きを行っていることを理解しておくこと</p> <p>第4回</p> <p>第5回 遺伝子が生命情報の出発点になっていることを理解し、世代を超えて受け継がれていくことを理解する</p> <p>第6回</p> <p>第7回 突然変異はどんな生物にもおこり、ヒトにとっては遺伝病、先天異常の原因ともなることを理解すること</p> <p>第8回</p> <p>第9回 ほかの科学研究の発展に刺激を受けて、遺伝の研究が実体論的研究に進展して分子遺伝学の誕生を見るに至った歴史的展開を理解すること</p> <p>第10回</p> <p>第11回 今日わたしたちの生活に遺伝子研究の様々な成果が実用化されていることを理解すること</p> <p>第12回</p> <p>第13回</p>		

予習・復習への アドバイス	第14回 第15回
履修上の注意 受講条件等	生物学の基礎知識が不十分である学生は、高校時の教科書や、生物学資料集を座右において生物学を復習しながら講義に参加してほしい。
成績評価の基準等	小作文の提出と期末試験による
メッセージ	生命科学技術の倫理的基礎を考察できる基礎力を養ってほしい。
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53011002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	日本文学からみた人間性[P3B,PN2]		
授業科目名 (フリガナ)	ニホンブンガクカラミタニンゲンセイ		
英文授業科目名	Human nature in view of Japanese literature		
担当教員名	櫻原 修		
担当教員名 (フリガナ)	カシハラ オサム		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	金 7時限, 8時限	講義室	総K106
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、板書多用
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	心、自己理解、実存、文学、世界へのまなざし		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	第3パッケージ:生命・人間への接近 生命とは何か、また生命の中で心という独自の特性を持っている人間とは何かについて探求するこのパッケージにおいて、日本の作家が、どのような自己理解から「人間」や「世界」の洞察に至るかを説くこの授業は、文学的アプローチからそれに迫ろうとするものである。		
学習の成果	文学特有のもの見方、表現の仕方を知り、世界や自己に関する認識を開いていく一助とする。		
授業の目標・概要等	第二次世界大戦以後の日本文学の中からいくつかの作品を取り上げ、それぞれの作家がどのような自己理解から「人間」や「世界」の洞察に至るかを検討し、人間の本性について考察する。あわせて、彼らがなぜ「文学」という方法を必要としたかを考えることによって、文学特有のもの見方、世界のとらえ方、表現の仕方を知り、我々自身が世界や自己に関する認識を開いていく一助とする。		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 大岡昇平 - 俘虜体験と文学の問題</p> <p>第3回 「野火」を読む(前半)</p> <p>第4回 「野火」を読む(後半)</p> <p>第5回 「野火」に関する総合的考察</p> <p>第6回 三島由紀夫について</p> <p>第7回 「金閣寺」を読む(前半)</p> <p>第8回 「金閣寺」を読む(後半)</p> <p>第9回 「金閣寺」の意図と、意図を超えるもの</p> <p>第10回 江藤淳『成熟と喪失』の主題と方法</p> <p>第11回 安岡章太郎「海辺の光景」を読む(前半)</p> <p>第12回 安岡章太郎「海辺の光景」を読む(後半)</p> <p>第13回 小島信夫「抱擁家族」を読む(前半)</p> <p>第14回 小島信夫「抱擁家族」を読む(後半)</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>最終回に定期試験を実施する。</p> <p>授業中に講義内容に関する質問や感想、簡単な問いへの解答などを求めることがある。</p>		
教科書・参考書等	<p>講義形式(講義中心;板書多用)</p> <p>参考書;上領達之他編『人間理解のコモンセンス』(培風館)</p> <p>三好行雄『作品論の試み』(筑摩書房)</p> <p>江藤淳『成熟と喪失-「母」の崩壊-』(講談社文芸文庫)</p> <p>他に適宜プリントを配布するほか、読むべき本を指示する。</p>		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料		
予習・復習への アドバイス	<p>第1回 『人間理解のコモンセンス』の櫻原執筆の章を読む。</p> <p>第2回 同上</p> <p>第3回 「野火」を読んでおく。</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 三好行雄の「野火」論を読む。(『作品論の試み』所収)</p> <p>第6回 「金閣寺」を読み始める。</p> <p>第7回 「金閣寺」を読み進める。</p> <p>第8回 「金閣寺」を読了する。</p> <p>第9回 三好行雄の「金閣寺」論を読む。(『作品論の試み』所収)</p> <p>第10回 『成熟と喪失』をできるかぎり読む。</p> <p>第11回 「海辺の光景」を読んでおく。</p> <p>第12回 江藤淳の「海辺の光景」論を読む。(『成熟と喪失』所収)</p>		

予習・復習への アドバイス	第13回 「抱擁家族」を読んでおく。 第14回 江藤淳の「抱擁家族」論を読む。(『成熟と喪失』所収) 第15回 全体を振り返り、復習を行う。
履修上の注意 受講条件等	
成績評価の基準等	質問・感想等の提出30%程度及び定期試験70%程度により評価する。
メッセージ	本来なら講義で取り上げる小説を全て教科書に指定すべきなのだが、最近の学生諸君の実状から考えると非現実的なので、あえて指定しないこととした。しかし、いずれも文庫本等で手軽に入手できるものであるし、コースリザーブでもある程度の冊数を用意するので、全作品読破を目指してほしい。
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>	

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53012002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	適応の生理[P3B,PN2]		
授業科目名 (フリガナ)	テキオウノセイリ		
英文授業科目名	Adaptation Physiology		
担当教員名	古川 康雄		
担当教員名 (フリガナ)	フルカワ ヤスオ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	火 3 時限, 4 時限	講義室	総K210
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義中心
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	生理学、自然環境		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ 学習の成果			
授業の目標・概要等	砂漠や北極圏のような過酷な環境で暮している人がいることなどからも想像されるように、人は様々な自然環境のもとで生きていくことができる。一方、人の生存をゆるさない自然環境も確かに存在する。本講義では、人の循環系や呼吸系の生理学に関する基礎知識を習得した後で、様々な環境が人体におよぼす影響を生理学的視点から考察する。		
授業計画	第1回 ガイダンス 第2-3回 循環系の基礎 第4、5回 呼吸器系の基礎 第6回 まとめ/小テスト 第7、8回 圧力環境と生理 第9、10回 温度環境と生理 第11回 まとめ/小テスト 第12、13回 人の身体能力と生理 第14回 まとめ/小テスト 期末試験		
教科書・参考書等	授業形式は講義中心で必要に応じてプリントを配布する。人の生理学に関する基礎知識を得るためには、看護学を学ぶ人が使う解剖生理の教科書が適当であるので、興味がある方は自分にあったものを購入されるとよい。		
授業で使用する メディア・機器等	配付資料，映像（ビデオ/PC/その他画像資料）		
予習・復習への アドバイス	第1回 ガイダンスなので予習復習の必要なし 第2-5,7-10,12,13回 配布資料などにより復習すること 第6,11,14回 配布資料、授業ノートにより復習してテストに臨むこと。また、小テストで解答できなかった点については配布資料などにより再確認しておくこと 期末試験 配布資料、授業ノート、小テストを復習してテストに臨むこと。		
履修上の注意 受講条件等	配布されたプリントや推奨されたテキストなどによって講義内容を復習することが必須である。高校レベルの科学知識がある程度必要であるので、本講義を受講する間に自習により補うこと。		
成績評価の基準等	小テストと期末試験の結果から総合的に判定する。講義、および小テストの日程はもみじ掲示板に掲載する。		
メッセージ			
その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】		
学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。			

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53013001	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	生物学からみたストレス[P3B,PN3]		
授業科目名 (フリガナ)	セイブツガクカラミタストレス		
英文授業科目名	Stress in the biological context		
担当教員名	浮穴 和義		
担当教員名 (フリガナ)	ウケナ カズヨシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	火 3時限, 4時限	講義室	総K107
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義形式(講義と筆記中心。筆記量はかなり多い。) パワーポイントを使用する。 適時プリントを配布する。
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	人間、ストレス、生物、生命、適応、細胞		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	ストレスを生物学的視点から理解する。		
学習の成果			
授業の目標・概要等	現代社会で大きな問題となっているストレスの正体を知るために、免疫・内分泌・病気・老化との関わりに着目し、ストレス応答の分子メカニズムを細胞生物学的に理解する。		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：イントロダクション</p> <p>第2回 ストレスの概念</p> <p>第3回 人間社会のストレスと病気I</p> <p>第4回 人間社会のストレスと病気II</p> <p>第5回 ストレスとホルモンI</p> <p>第6回 ストレスとホルモンII</p> <p>第7回 ストレスと免疫I</p> <p>第8回 ストレスと免疫II</p> <p>第9回 ストレスとガン</p> <p>第10回 ストレスと老化</p> <p>第11回 細胞生物学の基礎</p> <p>第12回 細胞のストレス応答I</p> <p>第13回 細胞のストレス応答II</p> <p>第14回 まとめ1:ストレス学から分かること</p> <p>第15回 まとめ2:ストレス学から分かること</p> <p>試験</p> <p>受講生の理解度を見ながら、中間試験を行う場合がある。</p>		
教科書・参考書等	参考書：ストレスの生物学(室伏きみ子著 オーム社)、からだの中からストレスを見る(日本比較内分泌学会編 学会出版センター)		
授業で使用する メディア・機器等	パワーポイントのファイルを液晶プロジェクターで投射する。		
予習・復習への アドバイス	各回の講義の内容を頭の中で理解し、受講生自らの言葉で説明づけられるようにすること。		
履修上の注意 受講条件等	特になし		
成績評価の基準等	授業参加態度(10%程度、ただし1/3以上休むと単位を認めない)・試験(90%程度)により評価する。		
メッセージ	ストレスを心理学的ではなく、生物学的にそのメカニズムを概説する。		
その他	<p>【受講希望者が250人を超えたときは受講者抽選を行う可能性があります。】</p> <p>【パッケージ別科目共通資料掲載場所(もみじTop内)：https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html】</p>		
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。</p> <p>回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。</p> <p>なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しないときがあります。</p>			

年度	2014年度	開講部局	教養教育
講義コード	53014002	科目区分	パッケージ別科目
授業科目名	社会福祉と貧困[P3A,PN4]		
授業科目名 (フリガナ)	シャカイフクシトヒンコン		
英文授業科目名	Poverty and Social Policies		
担当教員名	佐々木 宏		
担当教員名 (フリガナ)	ササキ ヒロシ		
研究室の場所		内線番号	
E-mailアドレス			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期
曜日時限	火 1時限, 2時限	講義室	総L101
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義形式は、30分から60分程度の映像と講義です。
単位	2	週時間	2
対象学生			
授業のキーワード	ホームレス、低賃金・不安定雇用、失業、貧困、人間らしい生活、尊厳		
教職専門科目		教科専門科目	
関連するプログラム			
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ	この授業科目は、現代日本社会において貧困や社会福祉制度が、如何に大きく人のいのちと尊厳に影響を与えているかを学んでいただくことを目的にしています。これが、この授業が<第3パッケージ：生命・人間への接近>に所属している理由です。		
学習の成果			
授業の目標・概要等	この授業のねらいは、日本の貧困問題について「知る」「考える」ことです。とりわけ「知る」ことを重視していますので、まずは、貧困問題をめぐる様々な現実を映像資料をつかって提示します。それを見た上で、日本の社会福祉・社会保障制度のあり方について、皆さんに「考えて」いただきます。		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 日本の格差・貧困問題の概要(1)</p> <p>第3回 日本の格差・貧困問題の概要(2)</p> <p>第4回 ホームレス問題の諸相(1) ホームレス問題とは</p> <p>第5回 ホームレス問題の諸相(2) ホームレスとネットカフェ難民</p> <p>第6回 ホームレス問題の諸相(3) 90年代末のホームレス大量創出の背景</p> <p>第7回 ホームレス問題の諸相(4) 様々なホームレス支援</p> <p>第8回 ホームレス問題の諸相(5) 広島のホームレス問題</p> <p>第9回 低賃金・不安定雇用と失業(1) 非正規雇用の増加</p> <p>第10回 低賃金・不安定雇用と失業(2) 日雇い派遣</p> <p>第11回 低賃金・不安定雇用と失業(3) 製造業フリーター</p> <p>第12回 低賃金・不安定雇用と失業(4) 「派遣切り」問題</p> <p>第13回 低賃金・不安定雇用と失業(5) ワーキング・プア</p> <p>第14回 貧困対策(2) 日本の社会保障制度</p> <p>第15回 貧困対策(3) 人間らしい生活を保障するために</p> <p>第1回と第15回を除き、毎回小レポートを授業に課す。別途、期末レポートも有り。</p> <p>日本の貧困問題やその対策は今急速に状況が変化しておりますので、この授業進行計画は状況に応じて、順序や内容が変わることもあります。その点、ご容赦ください。</p>		
教科書・参考書等	テキストは特に指定せず、必要な資料などは適宜こちらで用意し配布します。		
授業で使用する メディア・機器等	映像資料(文字情報なし、またすべて日本語) 講義(板書多用)		
予習・復習への アドバイス	<p>授業を受ける前、受けた後に考えてほしい問をあげておきます。</p> <p>第1回 なし</p> <p>第2回から第3回 現代日本の貧困問題は深刻といえるのかどうか？</p> <p>第4回から第8回 ホームレス個人が直面している困難とは何か？誰がホームレスになっているのか？日本で90年代末にホームレスが大量創出されたのはなぜか？</p> <p>第9回から第13回 非正規雇用の存在は社会問題といえるのか？誰が非正規労働者や失業者になっているのか？低賃金・不安定雇用、失業への効果的な政策的対応とは？</p> <p>第14回から第15回 ホームレス、非正規労働者、失業者、ワーキングプア層の共通点とは？現実を知った上で、あなたの日本社会への視点は変わったか？</p>		
履修上の注意 受講条件等			
成績評価の基準等	小レポートの評価20%、期末レポートの評価80%とし、あわせて60%以上獲得することを単位認定の基準とします。		
メッセージ			

その他	【パッケージ別科目共通資料掲載場所（もみじTop内）： https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/kyouyou/package.html 】
<p>学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。 なお、受講者が著しく少ない場合などに、アンケートを実施しない場合があります。</p>	